

大阪ミナミ映画祭は、現在のなんばマルイの場所にあった南地演舞場で1899年に日本で初めて興行として映画が上映されたことを顕彰するため、2005年から毎年開催しています。今年は3会場で5日間、「大阪の宿」「浪華悲歌」など延べ6作品を上映します。



© 国際放映

**10.15(火)** | 11:30/14:30 | 2回上映(122分) **「大阪の宿」** 1954年 新東宝、モノクロ

【監督】五所平之助 【原作】水上瀧太郎 【出演】佐野周二、乙羽信子、水戸光子、川崎弘子、細川俊夫 他

原作に描かれた大正から、この映画が製作された1950年代に時代を移し、主人公の目に映った大阪の庶民の人間模様を情緒豊かに描く。東京から大阪に左遷された主人公の会社員は、酔月荘という安旅館に下宿する。この旅館で働く3人の女中、芸者といった人々の喜怒哀楽が、いつくしみのこもったタッチで綴られていく。「煙突の見える場所」にならぶ五所平之助の戦後の秀作の一つ。



©1936 松竹株式会社

**10.16(水)** | 11:30/14:00 | 2回上映(71分) **「浪華悲歌」** 1936年 松竹キネマ、モノクロ

【監督・原作】溝口健二 【脚本】依田義賢 【出演】山田五十鈴、浅香新八郎、進藤英太郎、田村邦男 他

山田五十鈴が演技派女優としての才能を開花させるきっかけとなった女性ドラマ。社会的な弱者である女性の精神の自立を描いて、従来のメロドラマ的女性映画のカラを打ち破った画期的な作品。溝口健二監督の戦前の代表的傑作。



©1956 角川映画

**10.17(木)** | 11:00/14:00 | 2回上映(112分) **「残菊物語」** 1956年 大映、カラー

【監督】島耕二 【原作】村松梢風 【脚色】依田義賢 【出演】長谷川一夫、淡島千景、阿井美千子 他

村松梢風が二代目・尾上菊之助の人生を描いた同名小説を映画化。演劇の世界を背景に、一芸をきわめようとする男の辛苦とその為に自らを犠牲とする女の献身を主題として、清純な愛情の悲劇を描く。



©1954 角川映画

**10.18(金)** | 11:00/14:00 | 2回上映(102分) **「近松物語」** 1954年 大映、モノクロ

【監督】溝口健二 【原作】近松門左衛門 【出演】長谷川一夫、香川京子、進藤英太郎、南田洋子 他

近松門左衛門作の人形浄瑠璃・歌舞伎の演目『大経師昔暦』(だいきょうじ むかしごよみ)を下敷きにして川口松太郎が書いた戯曲『おさん茂兵衛』を映画化。愛に結ばれた男女が不義密通の罪で刑場に引かれていくまでを描いた作品。



**10.17(木)/18(金)** | 各18:00(90分) **「あした天使になあれ」**

【監督】港健二郎 【脚本】港健二郎、谷進一 【出演】瞳梨音、安藤匡史、ピーター・グライトリイ 他

大阪発の自主映画。多くの市民の協力を得て作られた本格的な青春映画。スタッフ・キャストはオール関西。嘉門達夫、渋谷天外が華を添える。また当日は、監督：港健二郎さん、主演：瞳梨音さんによる舞台挨拶もあります。※この作品はDVD上映となります。



**10.19(土)** | 11:30/18:00 | 2回上映 **「関取千両幟」** 弁士 **春野恵子** 曲師 | 一風亭初月 さん

1930年 無声映画 【監督】後藤岱山 【出演】羅門光三郎、木下双葉、住之江田鶴子

原作は江戸時代の大坂相撲を代表する名力士・猪名川がモデルの人形浄瑠璃。今回も、浪曲師の春野恵子さんの弁士で無声映画の傑作をお楽しみいただきます。

